

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
1	今の中学校の事情とか不登校が多くなってることをすごく危惧しているんですけども、在籍する間で約1割の子が同じ時期に卒業できていないことを聞いて知ったりとか、あとすごく課題が多く、中1から課題をこなすのに日を跨いでしまう、12時超えてしまっていて寝てるかわからない、という話を聞きます。もともとポテンシャルのある子が、過剰な教育活動でつぶされているのではないかというふうにすごく危惧していて、ロッカーに鍵がついたとか、部活の帰りはわざわざ着替えなくちゃならないなど、要するに他よりも縛りが多いっていう話を聞いたり、そういうのも聞くとすごく心配に思います。なので積極的にその辺も関与していただけると嬉しいなと思います。また、県の教育委員会では高校の卒業者数は公表してないと言われました。特に理由もなく、公表してないと言われて。でもそれは、子どもを持つ親としては、不登校が多いという情報は大事なので、公表は難しいかもしれないけども、やっぱり市にはその辺を把握していただきたいです。	もしそういうことが事実なのであれば、やはり把握する必要があるだろうと思っています。まずつくば市のお話をすると、つくば市が今目指してるのは、管理するような教育とは真逆ですね。つくば市では教育大綱を定めて、「教えから学び」へと、それから「管理から自己決定」ということを柱にして、自分で決めて自分で判断をしていくようなことを進めています。あるいは課題も夜遅くまでとの話がありましたけど、つくば市はいわゆる点数的な教育から、非認知能力と呼ばれる部分をより強調するようなものを進めていますので、それは一つ違うだろうと思います。 市内の小中高でも、不登校が増えているというのは、全国的にもつくば市でも起きてしまってるんですね。今つくば市では、これもかなり珍しいことですが、不登校の児童生徒への学習の支援として、民間事業者と共同で「むすびつくば」という事業を行っており、それぞれの子に応じて学習の機会を提供したり、教育相談センターのつくしの広場では、一人一人の状況に寄り添いながら、いろんな力を身につけていくという取り組みを行っていて、これは、つくばの児童生徒誰もが使えるものですので、もし学校に行きにくくなってしまったりしたら、積極的に使ってもらえればなと思っています。

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
2	SDGsの13番目の項目に、気候変動というのがありまして、私は気候変動に関して温室効果ガスの排出をなるべく少なくするという、このことをぜひ自治体としてもやってもらいたいんですね。 つくば市には、そういう再生可能エネルギーが何があるかということ考えたときに、地熱はないし、風が吹かないし、そうすると太陽光ぐらいしかないんじゃないかと。その太陽光に関しては、筑波山麓にパネルがたくさん並んじちゃって、これが地崩れを起こすとかそのようなことが危惧されて、それに規制をかけたということで、これももったいなくないんですけど、ただそういう規制の方面だけじゃなくてむしろ積極的に何か再生可能エネルギーを利用する。そういうところを取り組んで欲しいんですね。 10月4日の毎日新聞の記事を見ましたら、太陽光は厄介ものだという扱いが、取り組みによってはそうじゃなくなって、エネルギーを生み出す素晴らしい装置になりうるということ。適地が大きく言うといくつありますか、荒廃地とか空き地があるんじゃないかと。それから農地や都市化されたところですね。荒廃された地域っていうのは、例えば私見たんですけど、小貝川の東側の田舎っていうところなんかは、荒地が結構広いところありまして、農地でもない。そして草っ原なんですね。あるいは林だったり、ゴルフ場が近くにありますが、そういうところにぜひ設けて取り組んだらいいんじゃないかと。 それから、農地に関しては、耕作放棄地とか荒廃農地というのがあって、これも農地法の関係で規制があって、簡単にパネルを並べるなんていうのができないような規制も、取手市ではその規制をうまく回避する方法を見つけて、そこで発電しているそうです。そのうち営農式発電、あるいはソーラーシェアリング、そういうのをやってもらいたい。 それから都市部においては、かなり前ですけど、センタービルって言われる三井ビルから、つくば市発展すごいねと思って見てみたんですが、そしたらちょっとびっくりしたのは、駐車場だらけなんですね。これは橋や地面を走っているとわかんないんですけど、そういう駐車場に天蓋を設けて、そこで発電をするっていうのはいいんじゃないかと思うんですね。駐車場は私の家の前にも結構あるんですけども、そこは広くて埃が立ってて、使わない方からすると、何か殺伐としたところで美観がないなど。でもここに綺麗なパネル乗っけて天蓋をやれば、発電はできるし、美観も増すっていうんで、これもぜひやってもらいたい。 それから市役所の前の駐車場、あそこもやってもらいたい。毎日新聞の記事に書いてありましたが、発電やるっていうと何か都内の業者が来て、そこが儲けて、金が地元に落ちないっていうようなことがあるら	気候変動等についての取り組みは、非常に重要なテーマとして、私も月に一度職員を交えて意見交換をしています。環境対策でも本当に世界的に注目されているポートランドで仕事をしていた人をアドバイザーにおいて、どういう取り組みをしていくかというようなことを議論をしまして、喫緊の課題だと思っています。気候変動とか、環境っていうと、全然選挙のテーマにならないんですけども、でもすごく重要だと思っていて、やっぱりこれはきちんととにかく腰を据えてやろうということを、いろいろ議論しています。 農地の発電ですが、国から通知が来て、今年度からいわゆる荒廃農地については、もう絶対に復元できないところは非農地としてよいということになり、そういうところに再生可能エネルギー導入を進めるということになりましたので、つくば市でもそういう土地の所有者に、非農地になりましたという通知をする準備をしています。使えるところは積極的に使っていただいて、今まではソーラーシェアリングについても、ソーラーシェアリングすることによって日光が当たらなくなることで収量が下がってはいけません、下がっていい割合は2割までで、8割以上確保しなさいと決まっていたのが今回なくなりましたので、その要件は課さないということになりました。 一方で、やっぱり農地を守る部分もすごく大事で、つくば市でも議会で何度も課題になってることは、発電ありきで税金安いから農地の上にシェアリングをしていくようなアプローチがやっぱりちょっとまずい。当然、発電しつつも農地としての課税の場合は農地として、農業もちゃんとやらなくてはいけないことをやっておりますが、先ほどの取手の事例については、私もその毎日新聞の記事を見ましたけれども、農業だけで食べていけない人が、地場の人たちの支援によって作っていくというのは、可能性としてはあると思っていますので、どういう手法があるかということも今検討をしてもらっています。 それから駐車場も、この近くだと阿見のアウトレットで、まさに駐車場の屋根に太陽光パネルが乗っているというのがあって、市役所の駐車場にこれいいんじゃないのって話をしたんですけども、実現するためにはポールをたてたりして、運転上かなり気を使うようになると。だから全部ラインとかも引き直したりしないとなかなか難しいというのと、この一等地が今の駐車場のままの形でこのままでいいのかという議論もありますので、今後もし土地の有効活用をすることになったことを考えると、ちょっとどうしようかなというところがあるんですね。 具体的には、例えば市役所の事務室がいっぱいになってしまったので、市役所の隣にコミュニティ棟という建物を、まさに駐車場をちょっとつぶして建てたりしているので、だいたい都市が落ち着いてくれば可能性として

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
	しいんですけど、熊本県民発電所は住民参加型の発電で、つくば市の市民がファンドを出して、一口1人2万円とか、そのぐらいのことでお金を集めて、それで投資をするっていう、そんなことも計画されていんじゃないかと思うわけです。	ありますが、ただ私自身としては多少コストをかけても、これもいつも庁内の会議で言ってるんですけど、やっぱり気候危機に対応するためには、当然今までと同じコストなわけありませんし、でも逆に生み出せるものもあるんだというようなことで話をしています。今お話あった、その市民公募債を使って市の事業なんていうことも、1期目の公約で言われたんですが、当時は財政状況も本当にぎりぎりでリースとかで、かなり不利な状況になってしまったので、その時は選択はしませんでした、頭の中には常にアプローチとして持っていますので、改めて市民からタウンミーティングでこういう話もあったよっていうことを次の会議で共有して、また議論をしたいと思います。
3	死んでいく時のお墓について、田舎の人はみんな持ってるんだけど、都市部の人はどこにっていうことで、つくば市で霊園があったらいいねっていう話をして、つくば市でお墓に関しての何か考えは、結構相談されてるんですかね。未来見通しはあるんでしょうか。	考えてます。今何が起きてるかを説明しますと、以前から市にいらっしゃる方は、菩提寺やお墓もあって、もう立派な代々のお墓があるので心配ありませんが、研究学園都市ができてから移り住んできた方は、当然もともと地元に関わりがないので、お墓がないと思うんですね。民間の霊園はありますが、高かったりするわけですよね、数百万とか。まちとして、揺りかごから墓場までいかないと完結しないと思うんですよ。だから学園都市ができて、移り住んできた皆さんも行く場所がないといけないだろうと思っています。実は今までも議論していて、要望はありますが、つくば市内の民間の霊園に5000箇所も余ってるんですね。5000人は入るんですけど、ただやっぱり高いですし、結局そういう霊園っていうのは、家族が管理しなくちゃいけないですよね。ですので、後世に子供たちに負担をかけたくないって方がたくさんいらっしゃるんですよね。ですので、やっぱり市でも必要ではないかということは議論していて、各地のいわゆる公営の霊園を今リサーチしています。これは私のマニフェストにも入ってます。検討して、もちろん霊園を作ることは結構ハードルが高いことなので、地域の皆さんの理解もすごく必要ですしね。だから場所等も含めて、よく考えなくてはいけないと思います。立派なお墓を建てるような霊園ではなくて、合同葬とか樹木葬とかいろいろありますので、そういう選択肢で費用負担をかけなくても安心して皆さんが、自分はつくばの生まれじゃないかもしれないけれども、いろいろ生活をして全うしたなど、安心して行く場所もあるなど思えるような場所は、私は作りたいと思って、いろんな調査をかけているところというのが現状です。

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
4	さっきの太陽光の話ですが、私もいくつか携わったことありますが、せっかく農地を使うのであれば、太陽光を使う時には2段階にして、太陽パネルの下に、日光を使わなくてもいいような作物をつくるなりして、あるいはプライベートコントロールで、いろんな作物を365日つくれるっていうシステムもありますので、あまり農業で難しくならないような、高齢になってもできるような二段階のハイブリッド的なシステムができるんじゃないかという気がします。2段式あるいは3段式力を使った、農地としても使いながら太陽光発電をするようなことも考えていただければと思いました。 本題ですが、みどりの駅前に交番がないんですね。つくば沿線エクスプレス沿線で、駅前に交番がないのはみどりのだけなんです。事あるごとに、警察なり、地域の方々と一緒になって、区会で提案をさせていただいてるんですが、なかなかつくば派出所の方は、交番の方は話が進んでるんですが、いろいろな顔が全然見えてこない。ご存じの通り、あっという間に次から次へと新築が起り、みどりの学園に学校作っていただいたんですが、そこもう手狭になると。それぐらいの活気があります。あわせて、鹿島アントラーズのサッカーアカデミーでは、夜遅くに1人で行き、帰宅する子もいるんですね。集団はまだいいんですけども、1人でする子もいる。そういったところに設置というか、ポリスボックスでもいいんですけども、一つあることによって、非常に安心、安全だという面で必要な施設だと思うんですね。五十嵐さんの方にも届いてるかと思うんですけども。 どうも何か行政的には県までいかないといけないとか、いろいろおっしゃる方がいらっしゃるんですけども、やはりこれは市の問題としてぜひ、つくば派出所の分室というような感じでも結構なんです。一つその安心安全の面で可能であればポリスボックスでも結構です。ちょうど高架の下は空き地で余っておりますので、その一角でもいいもんですから、ぜひそれをご検討いただきたいなと思っております。 もう1点申し上げたかったのは、つくば市というのはブランド的なシティになりつつあります。友人からも、東京とつくばというような感じで出てくるんですね。つくば市っていうのは、違った意味で、今ブランドっていいですか、知名度が上がってる気がします。おっしゃってることに私もちょっと感銘を受けました、みんなでともにつくることが、つながりを力にっていうのはこれ本当に大事なことだと思うんですね。ぜひこれで、私の方も全力といいますかどこまでできるかわかりませんが、一緒にやらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です） 交番、もちろん届いております。私自身も、やっぱり必要だと思ってます。県の仕事ってあんまり多くないんですけども、所管として警察や県立高校、感染症対策辺りが結構大きなことなんですけど。なかなか直接触れないところが正直難しく、もうこれだけ人が増えていますので、ないのはやっぱりちょっとバランスも悪いと思いますし、治安面でも非常に心配だと思いますし、実際心配ですので、県にみどりのに交番作って欲しいという要望はしています。ただ、要望をしても、信号を一つとってもこれも県なんですけど、すごい時間かかるんですね。いろいろな交渉はもちろんしてんですけど時間がかかっちゃうと思ってますので、まずできることとして、いわゆる防犯のステーション的な位置付けのものを、ポリスボックスとは呼べなくても、置くということを今検討しています。警察のOBを市で雇用して、ちょっとしたプレハブのようなものを作って、ちゃんと対応できる人を、警察としての権力はなくても、やはり防犯への抑止力として配置する。あるいは、いざという時に安心して駆け込めるような場所として作っていくということを考えていかないと、おそらく交番を待っていたら、こっちはどれだけ要望しても、結局最後は予算がつくかどうかっていうのはまた別の話ですので、今そんなことを考えているところです。ちょっとまだ時期までは決まってないですし、これから詳細を計画をしていかなければいけないんですけど、交番がもしこのまま議論が平行線であれば、もうそっちに早めに着手しなくてはいけないなという思いを持っております。 やっぱり、東京、京都、つくばにですね、交番がないようですと、とてもじゃないですけど恥ずかしいですから、それに見合うようなね。私も派手なことばかりとかって言われることもあります。むしろ地味なことの方が大事だと思っています。やはり防犯面安心面とか、そういうことを一つ一つ対応していくということは、丁寧にやっていきたいと思っています。

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
5	小学校でPTAの役員をしております。小中学校の先生は、教育現場で児童生徒に本当に全身全霊で教えていただいて本当に頭の下がる思いです。毎日頑張っているんですが、今PTA活動などを通して学校を見て、人権とか多様性、特に法令、社会のルールの基本となる法令を先生方が守るのが非常に難しい状況にあるということを、改善していただきたいなと思っています。 コミュニティスクールのような、そういう地域参加とか、防災における拠点、共助の意味で小中学校と地域の方、我々保護者というところの連携ですね。あとは、やっぱり開かれた学校ということが益々今後重要になってくるかなあとと思っています。私たちのPTAをこういった連携の一員として、やっぱり一定の役割を果たすべく、それに相応しい団体にしていかなければいけないと今思っています。ただ市長も多分ご存知だと思んですけど、実際PTAというのは、我々内々で、誰もが嫌がるPTAとか、誰もが逃げ出すPTAというて、非常に保護者の中では、特に先生方も非常に距離を置かれてるような状況が現状です。こういった現状はやっぱりよくないということで、今全国的な潮流として、やっぱりその活性化とか適正化、我々の小学校では無理なく楽しい活動、特に社会のルールを守って、これからもずっと貢献できるような、そういった団体を目指して今ちょっといろいろ動いているところです。 どうしてPTAの活性化とか、適正化を進めることになったか、実際にはギャップというかハードルがありまして、いくつかちょっと法律を守れないまま、守ろうと思ってもなかなかできないというところがありまして、本来公費支出していただかなきゃいけない部分を保護者だったりPTAが寄付するということで、学校教育法とか地方財政法、場合によってはつくば市の物品規則といったものに、守られてない部分が出て来ると。特に今日ここに来るきっかけになったのか、学校が開設して管理している銀行口座が、働き方改革ということもあってインターネットバンキングを取り入れて活用してるんですが、そのネットバンキングの利用料を公費で出してもらえない。もっと言うと各銀行口座から各学校に振り込む振込手数料も公費から出ないので、現実には保護者だったり、結局PTAが払うことになっていて、これは本来であれば公費で払っていただきたい部分なんです。 あとPTA自体の課題として、どうしてもそういう強制じゃないんですけど、必ずやってねみたいなことになってしまって、やっぱりそういったところがちょっと行き過ぎると。寄付もそうなんですが、そういう本来PTAは任意団体で、100%その自発的な意思に基づいて加入したり退会したり活動したいという団体なので、そういった寄付の面もそうですし、	PTA活動をしてくださって、先生たちにも理解をしていただけた人たちの問題意識としてすごく重要なことだと思っていますし、今お話いただきました部分も、おっしゃる通りで、実は去年ぐらいに公費負担すべき部分であるとか、あるいはPTAで集めたお金を何に使うのかとか、公費を投入すべき部分はどこなのかなという原則を、今までちょっと曖昧になっていたの、それをようやく整理したところだったんですね。それでいろんな通知を出させてもらったりしたんですけども、一方で今お話あったようなネットバンキングの口座維持手数料というのは、どうも明確に公費負担すべきだろうと思っていますので、これは市で予算化をしたいと思っています。 細かい振込手数料とかを全部やりだすと、ちょっと予算規模感がまだ見えないので、その辺も法務、あるいは顧問弁護士と相談しながら、どういう部分は公費負担すべきかというところの法的な整理等も必要になってきますが、まず口座維持手数料から始めて、少しでもその辺を適正化していくということはしたいなと思っています。 それから、PTAの活動も、やっぱり任意団体ということもあり、ご存知ない方もいらっしゃると思いますし、それに乗じていつの間にかPTA入ってしまったので、ということになってるんですけど、実は私も子供の小学校でPTA会長をやったときに、同じような問題意識を持って、皆さんPTAって任意団体って知ってますかみたいなことをアンケート取って聞きました。実はあんまり皆知らなかったんですね。そういうのをいろいろ周知をしたりPTAの活動のアンケートとかをして、翌年度の会長に引き継いでですね。翌年度の会長が非常に優秀な方だったので、その方がもう入退会の意味確認とかもするような仕組みを整えてくれたんですね。任意性になったらみんなやらないんじゃないかっていうことを最初は危惧した方もいたんですけど、9割以上の方がPTA会員としてやってくれています。これそもそも憲法にも関わる問題なので、やっぱりその意思の確認というのはすごく大事だと思っていますし、その経費の適正利用ということも重要だと思いますし、それに加えてどうすれば皆さんが楽しく活動できるかと、皆さん真面目で責任感強いんで、きっちりやらなくちゃみたいな感じになっちゃうんですよね。PTAですから楽しくやりましょうとか、それぐらいの気持ちでやらないとみんな忙しいわけですし、その法的な部分で適正な手続きをやるということと、活動の楽しさとかっていうのは、ちゃんと切り分けながら、義務感にならないようにしていくのは大事だと思っていますし、そういう意味で、どういうふうにしたらできるかなんていうノウハウも持ってる人たちは持っていますので、そういうことも共有したりしながら、少しでも皆さんが活動しやすくなるような環境を整えられたらいいなとは思っています。

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
	あとやはり無理強いがすぎると、やっぱり人権問題と、もう本当にみんなが嫌がってしまうような団体になって、一生懸命良くしようと思ってやってるはずが、逆の結果になっちゃったりすると。そういったことがあるので、ぜひつくば市が行政として、特に現場の先生頑張っているんで、法令の部分をしっかり、我々も守らなきゃいけないんですけど、先生方が守れるように、そういう施策をぜひ市長の方から進めていただけないかっていうのが今日の主旨になります。	

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
6	私は以前から、まつりつくばというものを自前のものにできないのかなと思ってまして、五十嵐市長が市議会議員時代に、私が提案したと思うんですが、その時にまつりつくばを自前にできないのかという人もいましたよということを、メールでいただいたような気がしてるんですが、覚えておられますでしょうか。それをやりたいなと思って、筑波大の研究によると、神社仏閣の神事は、人口増の地域よりも人口減少してる方が継続しているというような研究発表もありまして、こういう素晴らしいつくばみたいな人口増のところも、神社仏閣にかかる神事がどんどん減少していくんじゃないかということもあって、このまつりつくばの流れ、ねぶた祭りが中心になってメインになってますけども、つくば自体の神社仏閣のいろんな行事を取り入れていくことで、つくば市として世界を見られているわけですので、そういう昔の文化をずっと残していくような、そういう対策をやって欲しいなと思って、ちょっと提案したんですけども。	私も何でねぶたなのっていうところは、出発点として持ってたんですね。確かにもととはねぶたも有志が持ってきて、パレードはねぶた大パレードみたいになってますけど、実は地域のおみこしがかなりたくさん出てるんですね、地域のみこし会、つくばみこし連合会というのがあって、そこで上郷とか吉沼とか小田とか、各地区の神輿が出てきて皆さんそれを活用してくれていて、かつ、万博のときにできた大万灯神輿というのがあって、それを各派閥を越えてみんなで担いで、その大万灯神輿というのが、ある意味つくばで一番由緒正しいもの、表現難しいですけど、みんなで新しく作ってきたものとして、私も担がせてもらったりするわけですけども。以前よりは、確かにねぶたが目立っちゃっていますが、まつりのパレードというのは、そういう意味で地域の御輿の出番にはなっているんだなあということは思っているんですね。 ねぶたを集客として使って、他に秋田の竿灯とかもきて、そこに地域の昔からある御輿が参加してるっていうのは、実行委員会の皆さんにもいろいろ意見を聞いたんですけども、それも一つのつくばの形じゃないのかっていう。つくばの伝統は大事にしながら、当然よそのものも喜んで受け入れると。共存することがつくばの形なんじゃないのっていうような意見がありました。より一番その意見を聞いたのはディズニーパレードをやったときで、私もディズニーパレードどうかと思ったんですけど、それも世界のつくばだったら1回ぐらいありじゃないかという。 今いただいた、問題意識にある地域の伝統的なものを大事にするとか、地域のコミュニティという視点では、私も本当に同じ意見を持っていますし、それを小さな子どもたちの時代から、育んでいくということもすごく大事だと思って、夏休みとかお盆の時期は私も各地のお祭りに行くんですけど、本当にこの仕事するまではよく知りませんでしたけど、小さな規模の集落の祭りというのは、市内にもすごくたくさんあって、そこでみんなで神輿を担いで過ごすというようなコミュニティもあるので、それをどう残していくかってのはすごく大事なテーマだと思っておりますので、結論としてはお話をしてる通りなんですけども、何かねぶたがあっても、今はおそらくねぶたに負けないぐらい、地域の人たちがパレードには参加をしていると思ってます。ただやっぱり、ねぶたが存在感があるので、そこに対するメッセージはもう少し出し方はあるかなと、お話を伺いながら思っていました。もうちょっと市でつくば市のみこし会の人達の取組を紹介していくとか、まつりつくばのアナウンスなどでもやっていいのかなということなどを感じました。

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
7	自習スペースについて、つくば市の自習スペースは図書館のところに限られていると感じていて、もう少し増やしてもらえたらと思います。	私もそう思ってますので、さっきのプレゼンのときに説明したつくばセンタービルのリニューアルの準備を今進めていまして、いろいろ詳細なご意見をいただいているので、詰め直してもいるんですけども、今のBivilに自習ができるスペースがあるんですけど、そこもちょっと手狭だったりしますので、もう少し充実した形の自習スペース、あるいは市民がフリーに使えるスペースとして、用意をしたいなというふうには思っています。 一方で、土浦なんかもよく見に行くんですけど、そこまですごい充実させるっていうところにはいかなくても、まずそのセンタービルの中で、できるだけスペースを有効活用して、そういう自習スペース、市民活動スペースとかかフリースペースですけども、そういう場所はちょっと用意したいなと思っています。

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
8	まず最初に端的にお答えしていただきたいんですけど、一番最初の方で、市長の方からプレゼンテーション、3番目ぐらいのスライドだったかと思いますが。どんなまちにするかっていうところの、いくつか伺ってましたけど、その中の一つに誇れるまちにしたいという項目があったと思うんですけど、一言で言うと、何をもって誇れるまちとしたいかっていう。 私の考える誇れるまちっていうのは、やっぱりつくば市ってブランドになってると思うんですよね。私もつくば市で生まれたわけじゃなくて、つくば市に来て30年以上経つんですけど非常に好きです。やっぱりできた当時の国のビジョンがしっかりしてたからと思うんですね。非常に綺麗なまちで、車の便もいいですし、一方で中心街だと、洞峰公園があったり遊歩道が整備されたりして、ユークラウドから筑波大学まで二つか三つ信号ありますけど、それほどなく歩行者自転車ベビーカーで行けるわけですよね。こんな綺麗なまちってやっぱりないと思うんですよね。ところが今、30年経つと、人口も増えて、研究学園駅周辺も整備されて、活気づいたと思うんですけど、やはりちょっと雑な感じのまちづくりになってるかなっていう感が否めないと思うんですよね。せっかく綺麗なまちを目指してた割に作ったら、ちっちゃいまちが乱立してるみたいな。先ほど言われたように交番がないであるとか、せっかく作ったまちは電信柱だらけ電線だらけ。この21世紀のまちづくりとしては非常に残念だと思うんです。茨城県っていうのは、魅力度ランキング最下位じゃないですか。ただ一方で、つくば市のブランディングっていうのは、やはり非常に高いと思うんです。先ほど市長が、これは県の管轄だと。交番作りも県だと、信号作りも県だとおっしゃいましたが、茨城県の魅力度を上げるために、つくば市が思いっきりこう上げるんだと、そういう訴え方をしていけばいいんじゃないかなと思うんです。 県に対する交渉の仕方だと思うんです。やはり、安全のまちづくりであるとか、例えば渋滞がないだとか、せっかくの科学技術が発達してるまちですので、クラシカルなこの信号のシステムじゃなくて、もう繋がる車になってるわけなので、交通量をしっかりセンサーで把握して、それをAIで計算すると、渋滞なんかなくなるわけですよ。そういう交通体系であったり住みやすいまちづくり、お年寄りが暮らしやすいまちづくりであったりとか、お子さんを育てやすいまちづくりであるとか、そういうことをやっぱりどんどん発信すればいいと思うんです。その具体的な施策をやっぱりどんどん取り入れたいと思うんです。今のこの30年経った時のつくば市を見てると、ちょっと雑なまちづくりになってるかなと思うんです。	私が目指してるのは、市民がいわれるシビックプライドを持っているまちにしたいっていうのがあるんですね。シビックプライドっていうのは、つくば市民が、つくば市民でよかったなとか、つくば市のこういうところって、住んでいて誇らしいなと。あるいは、一緒に住まない？って誘いたくなるとか、案内したくなるとか、そういうものを総じてシビックプライドというものを、作っていくということを、個別の施策の中に落とし込んでいきたいというふうに思っております。 一つずつお答えしていきたいと思いますが、洞峰公園非常にすばらしいと思います。なぜこの30年間で今、危惧されるような形になってしまったかという、やっぱりそれは都市設計の思想を、きちんと受け継いでこなかったことというのが一つ、結構大きなことなんじゃないかと思ってるんです。先人はやっぱりすごくいろんなことを考えていて、いろんな配慮をしてまちを作ってきたんですけど、例えば私が市長選挙落ちたあとだったか、ペDESTリアンデッキの石畳を全部剥がすっていう事業が行われてしまったんですけど、今どきあんな立派な石はないんですけれども、つまりとかそういう声があったと。かなりの部分をバートと工事しちゃったんですね。それに気づいた市民がちょっと待てということで、いろんな運動を私も裏でやってたんですけど、何とか赤塚公園から洞峰公園の700メートルだけは石畳を残せたんですけど、こういうことをやっぱり起きちゃいけないと思うんです。それはさっき言った都市設計の思想を理解してればよかったわけで、先人はこの二つの公園を、赤塚公園は静的な公園ですね。洞峰公園はいろんなアクティビティをする動的な公園として、このペDESTリアンデッキの石畳によって、一つの公園のようにつないでいくっていう思想のもとに作られたわけです。でも、その石畳を壊してしまったら、その連続性が失われてしまうわけですよ。だから、本来はそんなことは、そこわかってれば起きなかったはずなんですけれども、起きてしまう。多分そういうことがすごくたくさんあって、竹園公園で落ちるという理由で水辺を壊してしまうような工事とかも。あと、大清水公園の噴水が昔あったんですけど、マンションの人から水が飛んで汚いからとかっていって全部壊したと。そういうふうに、何かこう短絡的に目の前のものだけを見て、ちょっと市民からクレームが来たからじゃあ壊しますとか、変えますとかいうことばかりをしていったら、とても長く続いていくまちは私はできないと思ってるんです。もちろん市民の声はすごく大事ですので、困ることがあればしっかり聞きますし、どういう対応ができるか考えますが、ちょっとクレームが来たからって、そのまちの基礎である部分を重機を入れて壊してしまうっていうのは、それは蛮行だと私思うんです。ですので、そういうことも含めて、私自身もそうですし、職員もその部分をよく理解をしてまちづくりを進めなく

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
もっと綺麗なまちづくりを目指したいと思います。私も外国人を海外から招待したときに、この遊歩道が整備されてジョギングするんだけど、洞峰公園の周辺を綺麗だと、あそこから朝日が上がってる姿をジョギングしていると、こんな綺麗なまちないぞっていうほどに、誇れるまちなんですよね。そういうものをもっとアピールして、日本の中ですごくいいまちだって言わせるような、まちづくりを作ってもらいたいなと思うんです。魅力度ランキング住みやすいランキングで守谷市が茨城県の中でトップで、日本全国の中でも20何位に入ってますよね。つくば市もそこを超すような感じで進めていかなきゃいけないなと思います。 象徴的な技術を使って、日本全体に派生すればいいと思うんです。他のまちではできない、でもつくば市だからこれができたという、結果的にこうやって住み心地が良くなったとかっていうことをやればいいと思うんです。渋滞一つとっても、構造的な問題もちろんありますけど、アメリカだと、やっぱりちゃんとセンサーが働いて、右折車が10台あったら10台全部通すわけですよね。だけど、日本の交通体系っていうのは、時間で設定されてるので、10台止まっても5台とおっただけでそれでも黄色になって赤になって、結局5台残っちゃうわけですよね。そうすると後ろにどんどん溜まっていくわけですよ。そういうことすらできてないんです。そういう頭のいい、スマートシティを目指してもらいたいなと思うんです。そんなに難しい技術じゃないと思いますよ。今もうAIとかセンサーが発達してるんで。ぜひそういうのをやっぱり、市長から進めてもらいたいなと思います。	ちゃいけない。研究学園駅なんかは、発展していて確かにそれもすごく価値があると思ってますけども、やっぱりつくば市としては、研究学園、万博、みどりのについては生活のインフラをしっかり整えていく。以前からつくばらしさというものを象徴してるつくば駅周辺は、きちんとつくばらしさを、つくばの形というのを、やはり維持できるようにしたいと思ってますし、またまちの中心はあくまでも、あのラインを大事にしようというようなことで今取り組んでいます。とにかくあらゆる政策判断のベースに、私としては入れております。 すいません、県のせいにしちゃってるように聞こえてしまったら申し訳ないですが、交渉については、一番いい方法を常に検討しながら進めてるんですが、いかんせんまだまだ力不足で、なかなかパッと交番ができるようなことには至ってないので、できるアプローチというのはしっかり積み重ねていきたいと思ってます。 それから交通体系、本当に渋滞もこれはまさに研究学園周辺が一番の課題ですけれども、これもデータの分析を今してます。渋滞の混雑のエリアが市内で11か所、これはもう構造的に解決しなくちゃいけない部分なので、まず3か所を先に手をつけて取り組み始めてるんですが、実は渋滞学の専門家という先生がいて、来てもらっていろいろアドバイスをしてもらっています。警察が持ってるデータとかも全部出しているいろいろやってもらったんですが、その専門家のアドバイスによると、いろいろやれることがあるんだけど、絶対量が増えすぎると、いろんな対策も無意味になっちゃうので、かなり早い段階から道を上手く誘導していかないと、根本的な解消するのはちょっと不可能っていうような結論だったので、じゃあ本当にかなり早い段階からどう迂回させていく、どうパークアンドライドにするということも、渋滞関係のプロジェクトの中で動いているところがあります。この研究学園あたりは、実は昔、県道が高架になるはずだったんですね。だけどそれが結果として、普通の十字路になったんで、これはもう県としてはやる気はないということを言ってますので、もうできない前提で、市として何ができるかというのを今考えていて、ソフト面でいろいろ工夫をしたいなと思ってたりもしています。おっしゃるように、まさにそういう部分にテクノロジーをいろいろ使って、やれる余地があるところだと思っていますので、そういう誇れるまちでありたいということも思っております。 信号等もいろいろ県の関係でハードル高いとこなんですけど、例えばつくば市でも信号の情報を自動運転の車椅子に送って、信号をちゃんと判断して通過するとかそういう仕組みなども、産総研と一緒に実験したりしてまして。徐々にそのハードルが高かった部分に、協議をすることはできてきて

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
		いますので、そういう信頼関係をベースにしながら、より踏み込んで行きたいなというふうに思ってます。それを大枠で実現をするのがスーパーシティというものでして、細々とやるんじゃなくて、データも連携させながら、市民が過ごしやすいということにつなげていきたいと思っておりますし、それをして初めて、つくば市に住んで、やっぱりつくばだななんて思ってもらえるんじゃないかと思っているんですね。 私が就任した直後に、市民意識調査に1個新しい設問を加えて、あなたは科学のまちの恩恵を感じていますかっていう設問を入れたんですね。見事に5割以上が感じてなかったんですね。それってつくばのレーゾンデートル(存在意義)が崩壊した瞬間でもありますし、シビックプライドがないんだなということがわかった。残念ながらなかなかその数字を上げていくってのはすごいしんどいことなんですけれども、このスーパーシティなどの取り組みを通じて、やっぱり見える形で、サービスであったり製品の形でやっていくことで、またそこにも繋がっていくだろうと思っています。しっかり大きなビジョンを持って取り組んでいきたいと思います。

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
9	①つくばの都市開発というか、財務省が持っている公務員社宅とかの再開発について、私の方で思っていることが2点あります。 一つが土地計画書に書いてあることが守られていないという点。あとは市役所の広報の仕方が、地元住民に全く届いていないという点があるんですけれども、経緯を言うと、松代地区にはいくつか公務員社宅があったんですけれども、昔市民の反対があって、再開発自体はいいけれども、緑のエリアを残して欲しいというふうに主張があったんですけれども、全く無視されている状況で、つい1年前の松代5丁目の大規模な区域が、森の中にあるような住宅地があったんですけれども、全部木が伐採されてしまいました。私は再開発の計画に入っただけのことすら全く知らずに、どういうことだったんだろうと後から事情を調べたら、一応土地計画書っていうのが出てて、意見公募っていうのが出ていたんですけれども、もう市役所のホームページだけでちょっと紹介されているだけで、地元住民が何か受け取ったわけでもなかったんですね。何が起こったかっていうと、一本の木も残さずに歩道の周りだけは残すように都市計画を立ててはあったんですけど、全部切られていました。これはつくばだけの問題じゃなくて、日本全体、再開発ってなったらもうすべて更地にするっていうのがもうルールみたいになっていうところがあると思うんですけど、SDGsが叫ばれている中で、つくばなんかもともと50年前に森を切り開いて作った土地なのに、さらに育った森をすべて伐採して、それでギチギチに、その辺によくあるような建売住宅を建てていくのはつくばブランドとしてもどうなんだろうと思っています。 そこで質問したいのが、市独自の条例を作って、今ある緑の区域を歩道の周りだけじゃなくて、もっと市の方で指定してこの緑は伐採してはいけませんというふうに指定したりすることはできないのでしょうか。市役所の都市計画課と環境保全課に一応赴いて質問をしたんですけども、何か理由とか特に言われず、無理だっていうふうに言われてしまって、同情はしてくださったんですけどそれはできないんですよ。ばっかりで、答えが出なかったの。	①まず私の緑についての考えから話をしたいんですけども、私は結構市役所の中で樹木原理主義者として知られていて、職員が困ってるんですけども、やっぱり残さなくちゃ駄目だよってことはすごくこだわっています。なぜ私が街路樹にこだわるかというと、それはまちの成熟度を示すものだと思ってるんですね。今つくば方式という二本立ての大通り、これ県の方で切られる計画があって、ちょっと一旦それは置いときますけども、市道も実は街路樹が全部切られる予定だったんですね。それは、歩道をちゃんと確保するためとか、街灯をつけるためという話で、実は一部吾妻でそうってしまったところがあったんですけど、駄目だと話をして。残そうよと、街路樹がかかっちゃうんだったら、街灯短くすればいいじゃんかって言って本当にいろんな方面に迷惑かけたんですけど、私が日本造園学会の会長さんと一緒に歩いたりして、職員とこども残せるよねとか、個別に考えようって言って、すでに発注してる工事も止めてもらいました。一応市としては、腐ってる木はもう危ないから切って、最低限やっぱり安全上危険があるもの以外は全部残すって方針にして、1路線だけで100何十本残せたんで、多分数えたらもうちょっとわかんないんですけど、ものすごい数を守ることができたんですけども、当然その街路樹の効果ってのは他にも様々あって、緑陰で車椅子やベビーカーの人たちが暑い中でも日よけになると、いろいろあるんですけど、やっぱり新しいまちでは、何十年の街路樹ってないから、価値だと思っているんですね。ですので、私は残したいと思います。 公務員宿舍跡地もできるだけ樹木を残して欲しいと言っています。一つの事例ですが、カスミが並木に新しくできるんですけども、市道の街路樹がカスミの敷地内に入り込んでしまうような状況があって、カスミからは切ってくれと、工事とかいろいろ邪魔だからと言われましたが、そこでちゃんと市の考えを説明して、その街路樹も何十年も、いろんな人が通ってきた場所なので、そこの通り沿いは何とか維持してもらおうようお願いをして、カスミさんやっぱり地元の会社で立派なので、わかりましたということで、残してくれたんですね。 ここから質問に対しての答えなんですけど、やっぱり財産権なので、これには及ばないんですね残念ながら。条例とかをかけることができない、要するに自分の土地に何をしようと、そこに対して権力が介入することが憲法上難しいので、いろいろ法律的な専門家に相談とかもして、もうちょっと積極的な方法はないのかっていうことは検討はしましたが、やっぱりその土地所有者の財産権というのがものすごい強い。日本では私権が強いんですね。日本ほど、ここまでいわゆる財産権が強い国は、ほかにも多くないんじゃないかということも言われたりもしますが、でも残念ながらそれが

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
②財務省が売りに出した公務員宿舎跡地も、買い取った企業に願ひするっていう形をとることができるってことですか。 ③ちなみに松代5丁目の2019年に大規模に伐採されてしまった更地にされてしまった区域に関しては、何かされたことがありましたか。 ④ただ、それをそれこそさっきその件の話とか、今回に関しては憲法なんですけれども、市の取り組みとして何とかそこを事業者の方に理解していただくような取り組みっていうのはできないんでしょうか。何かどうしても善意に頼ってしまっているところがあって、それを言ってしまうと先ほど言っていたこの30年で雑になってしまった都市計画っていうのは、多分改善しないように思うんですよ。	日本の法体系の中なんで、それを条例で上書きするっていうことは、これはもうできないんですね。ですので、もう個別にいろいろ交渉をしながら、さっきのカシミさんのように何とか理解をしてもらって少しでも残してもらおうとか、そういう努力をしているというのが現状で、私も正直もどかしい思いを持っています。ちょっと今の日本の憲法上お答えとしては、できないでしょう。 ②もちろんです。できるだけそうしてくださいということはやっています。ただ、当然高いお金で買ってますので、一区画でも多くなるわけですよ。でもそこをやっぱり少しでも理解をもらったり、例えば、建蔽容積の制限なんかもあるんですけども、最低敷地面積は決まっていますが、やっぱりそんな小さいものばかり並べちゃ駄目だよな、ゆとりある空間作りなくちゃいけないよっていうふうに理解してくれる事業者さんなんかは、自主的にそんなに細かく切らないで、165が一つの最低敷地面積ですけど、200とかにしてくれたりというところが出てきていますので、やっぱりそういう地道な働きかけをするっていうことが、市として最大限できることなのかなと。 ③すみません、どういう交渉したかまで今ちょっと言えないですが、基本的にはできる限り残してくださいっていうのは、あらゆる公務員宿舎跡地の計画には要望を出しています。それは、言える最大限の言い方で言っているということです。強制力は残念ながら持っていないので、松代5丁目についても同じように、そういうリクエストは出しているはずですよ。 ④おっしゃる通りで、だからこそ、これも多分すごく時間がかかることで、そういう取り組みを地道に市としてもメッセージをしていって、例えば今回のカシミさんの事例っていうのは、良い事例ができたとは思ってるんですね。今までは、どれだけいろんな事業者お願いしても、いやそうは言ってもっていうふうで、それはそれ以上入らなかったんですけど、カシミさんが今回こんなふうに協力してくれて、樹木も残って市民も喜んで、それが増えていくと地元で愛されるスーパーでしようみたいな話が事例ができたので、じゃあ次、事業者に交渉に行く時もそういう事例を話す。だんだん、そういうものが定着をしていけば、つくばでやるときは最初からちょっと残すことを計算して、事業計画立てなくちゃいけないよなっていうところまでいって初めて、まちとしての必要なレベルに到達することだと思っていて、それが例えばさっきのポートランドなんかは、そこまでの憲法の縛りはないので、税制優遇とかいろんなことをして、維持したりしてるんですけども。そういうことを地道でもやり続けるしかないと思ってますし、効果はゼロではな

タウンミーティング(2021.11.2 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要（※特記のないものは、市長による発言内容です）
	⑤時間のかかることっておっしゃられたということは、松代4丁目の大規模な地区がまた売り出されることになったり、地区が再開発される時には、間に合わないのでしょうか。	いと思います。逆につくば市民もそういう声を出していくというのがすごく大事だし、購入される際にはよく検討したりですね。そういう意味で消費者の行動にも繋がっていくっていう、多分すべて繋がってると思うので。そんなことも含めてですね。 ⑤今の制度でできる限りのことはやりますけれども、残念ながら市に強制力はないというところが難しいところです。でも、当然その維持をできるだけしてもらおうというのは要請はします。お気持ちはよくわかりますし、私も残さなくちゃいけないと思っているので、どうなんだということはあるんですけども、やっぱりそれは、力づくで抑えるというのではなくて、そういうことを理解してくれる人達を増やすっていうことが、多分本当の意味でともに創るまちなんだろうと私は思いますので、市民側もそういう声を上げていくということもすごい大事で、これが事業者理解をされていくような努力をみんなですていくということが、必要なのかなと思ってますね。
10	今回ズームアプリを利用したオンラインタウンミーティングってのはどんなものかなというようなことで、申し込みをさせていただきましたありがとうございます。その際つくば市の広聴担当の方に、適切なアドバイスを指導いただきまして、大分理解が進んで今後利用できるかなというふうに思っております。ありがとうございました。 先ほど市長さんおっしゃられましたコロナ関係ですが、最近ようやく下火になって喜ばしいことだと。関係者の皆さんも、医療従事者の方、本当に大変なご尽力いただいたと思っております。今後、政府の発表といいますか厚労省の情報によれば、年明け早々3回目のワクチン云々というお話も出てるようでございまして、具体的なことはこれからということのようですが、いずれにしても医療機関の協力が得られれば、つくば市の場合は前回実施した個人接種という点を重視して混乱のないように、と同時にまた、県全体としてやる場合の職域接種、あるいは集団接種というようなものも連携をとられてスムーズに対応いただくようお願いを申し上げたいと思います。	新たに3回目今準備をしています。間隔が8か月なので、12月からまず医療従事者に打って、医療従事者は自分のクリニックで打っていただくという方向で進めていまして、その後高齢者の方から順番になっていきますが、これについても通知を順次発送をしていって、もう打った順番にやっていくというようなことになっていくと思いますので、ご希望される方が、できるだけ混乱のないようにしたいなと思っております。今のところ県で集団接種やるとかっていう情報は来てはないんですけども、その辺りの情報を見極めながら、市としてしっかり打てる環境は整えたいと思ってます。余計なことですけど、県が市町村別の接種率というのを公表しててですね、つくば市が見かけ上すごい下の方にあって、ただこれは、全人口の接種率というのを公表してて、当然接種対象は12歳以上ですから、つくば市は子どもの割合がめちゃくちゃ多いので、そもそも接種対象じゃない人が母数になって、接種者の割合とか意味がわからないっていうのがその1。かつ、もしそうじゃないとしても、12歳以上の子どもの絞ったとしても、高齢者からやってますから、つくば市高齢化率が圧倒的に県内で低いので、当然後回しになってきたわけですね。正しい事実としてお伝えします。しっかり医療機関の協力のもとで、ワクチン接種を進めてはおりますので、3回目もきちんとやっていきたいと思ってます。